

全中 松陵中(男子)が第3位入賞

平成4年福井全中以来31年ぶりの快挙!

第53回全国中学校剣道大会

令和5年8月18日(金)～20日(日)
於 愛媛県武道館



31年ぶり男子団体入賞の松陵中学校
男子個人出場の松口直次郎選手(前列左から2番目)



第 118 号

発行人
福井県剣道連盟
会長 片山 外一
事務局
〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18
サンライズ二の宮1-B
TEL・FAX (0776)28-6616
メール fkiikendo@herb.ocn.ne.jp



- 優勝 高森中学校 (熊本県)
- 2位 神埼中学校 (佐賀県)
- 3位 安佐中学校 (広島県)
- 3位 松陵中学校 (福井県)

※第3位入賞

松陵中 1 | 3 神崎中 (佐賀県)

▽準決勝

松陵中 1 | 0 翔凜中 (千葉県)

▽2回戦

松陵中 1 | 0 加古川中 (兵庫県)

▽1回戦

松陵中 1 | 0 花巻中 (岩手県)

松陵中 2 | 0 米子北斗中 (鳥取県)

※予選リーグ1位、決勝トーナメントへ

【決勝トーナメント】

■男子団体

【予選リーグ】

第53回全国中学校剣道大会が8月18日(金)～20日(日)、愛媛県武道館で開催され、本県からは7月の「第61回県中学校夏季総合競技大会」で優勝した松陵中学校(男子)と中央中学校(女子)と、男女個人戦で1位2位の選手が出場。男子団体に出場した松陵中学校が第3位入賞を果たしました。

本県勢の3位入賞は平成4年福井県で開催された「第22回全国中学校剣道大会」で大東中学校男女団体が第3位入賞以来、31年ぶりの快挙。

本県勢の結果は次の通りです。

■女子団体

【予選Bリーグ】

中央中 0-1 淑徳巣鴨中 (東京都)

中央中 5-0 野市中(高知県)

※予選リーグ2位、予選敗退

優勝 佐大和中学校 (佐賀県)

2位 暮張本郷中学校 (千葉県)

3位 淑徳巣鴨中学校 (東京都)

3位 草葉中学校 (茨城県)

第53回全国中学校剣道大会

令和5年8月18日(金)〜20日(日)
於 愛媛県武道館

【感想】

松陵中学校

主将 常田和太郎

全国優勝という目標を達成することはできなかったのは残念だが、自分たちの力を出し切ることができた。先生方、保護者、仲間、みんなに感謝の思いを伝えたい。全国優勝は、後輩に託したい。

松陵中学校

監督 中村 英紀

福井県勢が表彰台に立つのは平成4年の福井全中以来、31年ぶり。メンバー全員力で勝ち取った素晴らしい結果だった。



女子個人出場の西山倫代選手(左端)
女子団体出場の中央中学校

【感想】

中央中学校

主将 西山 倫代

私は8月18日〜20日に行われた第53回全国中学校剣道大会に出場しました。結果は団体・個人ともに負けてしまいましたが、全国の舞台上で強い試合ができました。また、全国上位の選手の気迫や勢いを生で感じられて、いい経験ができました。

中央中学校

監督 西田 翔

1試合目、2試合目と選手1人1人の自分の剣道に対する『自信』の大切さがよくわかる試合でした。選手、そしてそれを支える保護者と指導者、福井県の剣道の先生方に心から感謝の全国大会でした。本当にありがとうございました。

■男子個人

▽1回戦

山田典悠(南越中) コ、メー

中村飛燕(白沢中・群馬県)

▽2回戦

山田典悠(南越中) 一メ、コ

久保田堅一郎(八女学院中・福岡県)

松口直次郎(松陵中) メー

武田宝冠(天童四中・山形県)

▽3回戦

松口直次郎(松陵中) 一メ

高野悠真(横田中・島根県)



男子個人出場の南越中学校
山田典悠選手(左)

【感想】

男子個人戦出場

南越中学校 山田 典悠

個人戦で初めての全国大会でした。対戦した選手全員が自分よりも年上で、胸を借りるつもりで戦いましたが、全国はやはりレベルが高く、もつ

と練習しなければいけないなど感じました。この経験を活かして、また来年も頑張りたいです。

南越中学校

監督 山田 聖子

緊張もするけれど、自分が全国でどれだけ通用するかワクワクもすると挑んだ全中。しっかりとした課題が見つかったように思います。また来年へ向けて、今以上の努力と剣道に打ち込める環境に感謝し、一回り成長した姿を見せてほしいです。

■女子個人

▽1回戦

藤田ひかり(鯖江中) コ、メー

中島聖子(福島県)

西山倫代(中央中) 一メ

土屋陽和(山梨県)

▽2回戦

藤田ひかり(鯖江中) 一メ

坂下陽和子(鹿児島県)



女子個人出場の鯖江中学校
藤田ひかり選手(右)

全中観戦記

敦賀市立松陵中学校

顧問 中村 英紀

「君の夢 四国の蒼空で 咲きほこれ」のスローガンのもと、愛媛県武

自分の意志をもって、自分の目指す剣道に近づくために努力をしてきた2年半でした。全国の舞台で決めた打ち切った出ばなメンは、追い求めてきた1本でした。家族や先生方の支えや仲間や後輩の励ましに感謝し、また、努力してきた経験を心の糧にして、次はどんな自分に出会えるでしょうか。

鯖江中学校

監督 澤田 泰治

自分の目指してきた試合をイメージして大会に挑むことができたからだと思います。目標にしてきた舞台に立ち、磨いてきた面を決めて勝つことができ、うれしかったです。

女子個人戦出場

鯖江中学校 藤田ひかり

全中会場の愛媛県武道館を見たとき、こんな素敵な会場で試合ができるんだ、とワクワクしました。大会では、自分の力を出し切る自信がありました。それは、大会までの練習で、自分が目指してきた試合をイメージして大会に挑むことができたからだと思います。目標にしてきた舞台に立ち、磨いてきた面を決めて勝つことができ、うれしかったです。

【感想】

道館で3日間の日程で開催されました。

1日目の女子団体戦は、北信越大会を制した勢いで中央中学校が出場しました。予選リーグ初戦、東京代表の淑徳巣鴨中学校と対戦、1試合目という緊張感から選手たちの動きは硬く、残念ながら惜敗しました。2試合目の高知県野市中学校には大勝しただけに、1試合目の難しさが課題となりました。

2日目の男子団体戦は、松陵中学校が上位進出を目指して臨みました。予選リーグ、岩手県花巻中学校と鳥取県米子東中学校の2試合とも僅差で退け、決勝トーナメントに駒を進めました。決勝トーナメント1回戦の兵庫県加古川中学校には、ポイントゲッターである先鋒の松口が勢いのあるメンを決め、団体戦の勝利に結びつけました。準々決勝では、前評判の高い強豪の千葉県翔凜中学校に中堅・キャプテン常田がメンを先取するもメンを返されましたが、相手が出てくるところを見事にコテを決め、ベスト4進出を決める決定打となりました。決勝トーナメント2試合とも、大将・元井は強豪選手相手に逃げることなく、攻め続けたことがチームの勝利に結びついたと言えます。福井県勢31年ぶりの準決勝では、伝統校である佐賀県神埼中学

全中観戦記

鯖江市立中央中学校

顧問 西田 翔

女子団体戦では、中央中学校がリーグ突破をかけて、東京都代表の淑徳巣鴨中学校と高知県代表の野市中学校と対戦しました。初戦は強豪の淑

校に挑みましたが、先鋒戦は勝利したものの次鋒・中堅・副将とポイントを先取され、残念ながら福井県勢初の決勝進出の夢は絶たれました。しかし、全国第3位入賞という輝かしい結果を「部員23名全員の力」で残すことができました。

3日目の男女個人戦は、4名が出場しましたが、松陵中学校の松口選手3回戦進出が最高の成績でした。4選手とも積極的な試合運びではありましたが、あと1本の決定打がなく惜敗しました。

今回の大会では、福井県開催であった全国中学校大会以来、31年ぶりに表彰台に立つことができました。これも福井県剣道連盟の先生方をはじめとする先生方のご指導、保護者の方の温かいサポートの賜物であり、心より感謝申し上げます。今後も、福井県の中学生が「日本一の表彰台」に立つことができるように精進していきたいと考えております。

徳巣鴨中学校との対戦でした。先鋒の守選手は、隙のない相手選手に対し、駆け引きをしながら好機を伺っていたなかで合いメンとなり相手の旗が上がりました。取り返そうと意気込みましたが出鼻メンを取られ、2本負けとなりました。次鋒の廣中選手は先鋒の負けを取り返そうと試合に集中していました。相手の技のおこりを捉え出鼻メンを打ち込み、1本を取りました。もう1本取りに行こうと試合に臨み、相手に仕掛けられたところにメンを合わせにいきました。廣中選手のメンが決まったかのように思えましたが、相手の旗が上がりそのまま引き分けとなりました。中堅の森川選手は強気で果敢に攻め、諦めない気持ちが前面に出た試合運びでした。しかし応じ技を狙っているなかで僅かに手元が上がったところを相手選手は見逃さず、コテを打ち込まれ1本負けとなりました。副将の中村選手は、一縷の望みをかけ、なんとしてでも大将に繋ぎたいと攻め続ける姿勢を崩しませんでした。相手選手も同様に攻め続けお互い一歩も引かず、そのまま引き分けとなりました。大将でキャプテンの西山選手は相手チームに一矢報いようと立ち向かいました。西山選手のコテと相手選手のメンの同時打ちになりましたが、上に乗っていた

メンに旗が2本上がりました。最後は完全に足が止まっていたところに勢いよく相手のメンが飛び込み、2本負けを喫しました。

2戦目の野市中学校との対戦では、初戦での悔しさを晴らすような試合となりました。先鋒の守選手は、勢いよくメンを放ったところを相手選手が合わせてきて合いメンとなり、みごと1本を取ることができました。相手に隙を与えず、1本勝ちとなりました。その流れをしつかりと引き継いだ次鋒の廣中選手は、相手の技のおこりを見て出鼻メンを決めました。その後も落ち着いた攻めを続け、相手の足がとまったところを勢いよくメンを放ち、2本勝ちとなりました。中堅の森川選手の試合は、相手選手との打ち合いが多く見られましたが、相手の動きを冷静に見極めメンのスピードを活かし、出鼻メンを2本決めきりました。副将の畑選手も躍動し、1本目を出鼻メンで決めました。2本目は相手がメンを狙い出てきたところに返しドウで決めました。タイミングが完ぺきな綺麗な返しドウとなりました。大将の西山選手は、さすが大将戦というような戦いで、竹刀での攻め合いからの合いメンとなりました。面の中心を捉えた素晴らしいメンとなりました。どの選手も自分の力を十分に発揮で

きた素晴らしい試合となりました。後は淑徳異鴨中学校と野市中学校の結果を待つのみでしたが、淑徳異鴨中学校が野市中学校に勝利し予選2位で敗退となりました。その後、淑徳異鴨中学校はベスト4まで進みました。全中ベスト8を目標に全力で稽古に打ち込んできた選手たちにとっては悔しい結果となってしまいましたが、一方でベスト4に輝いたチームと対戦できたことで学べたこともたくさんあったと思います。悔し涙をひとしきり流した後「来年は絶対によりベンジをしよう」と前を向く選手たちを見て、非常に頼もしく感じられました。技術面・精神面で大きな支柱であった3年生の思いを、きつと1・2年生が受け継ぎ、来年の夏に向けてまた一から頑張ってくれることを期待しています。

個人戦では、中央中学校の西山選手が玉徳中学校の土屋選手と対戦しました。先に仕掛けていこうという姿勢が表れた試合でした。何度も果敢に攻め、相手の面を何度も狙いましたが、旗は上がらない状態が続きました。延長2回の試合となりましたが、最後は相手のメンに対して合わせるかたちとなり、メンを取られ1回戦敗退となりました。

全国大会・ブロック大会 本県勢の活躍！

特別国民体育大会 剣道大会

令和5年10月8日(日)～10日(火)
於 霧島市牧園アリーナ
(鹿児島県霧島市)

少年男子、成年男子が 第5位入賞！

今大会は、令和2年度に開催予定であった第75回国民体育大会が新型コロナウイルスの感染拡大により延期となったことに伴い、今年度「燃ゆる感動かごしま国体」の大会愛称のもと、鹿児島県で開催されました。剣道競技は霧島市で行われ、本県からは少年男子、成年女子、成年男子の3種別が出場し、少年男子と成年男子がともに第5位に入賞しました。

試合結果は次の通りです。

【少年男子】

▽1回戦

先鋒	福井	北海道
次鋒	佐野	佐藤
中堅	山下	小林
副将	笠嶋	菊地
大将	本島	上村
	森	石川

※1―0で勝ち

▽2回戦

先鋒	福井	熊本
次鋒	佐野	石橋
中堅	山下	立山
副将	笠嶋	谷
大将	本島	佐藤
	森	石田

※0―3で負け

ベスト8 (第5位入賞)



【成年女子】

▽ 1 回戦

先鋒	福井		熊本
中堅	大西	引き分け	西尾
大将	細川	1コ、メ	渡邊
	山田	引き分け	瀧本

※ 0—1 で負け

【成年男子】

先鋒	中村翔太郎	(明治大学)
次鋒	林田匡平	(丸岡高教員)
中堅	鈴木秀典	(福井県警察)
副将	松井宏文	(敦賀気比高教員)
大将	小辻淳二	(三方中教員)

▽ 2 回戦

先鋒	福井		栃木
次鋒	中村	コ、メ1コ	大平
中堅	林田	メ、メ1	入江
副将	鈴木	メ1メ、メ	松澤
大将	松井	1メ、コ	藤田
	小辻	メ、コ1メ	高浜

※ 3—2 で勝ち

▽ 3 回戦

先鋒	福井		大分
次鋒	中村	メ1メ	宇野
中堅	林田	コ、メ1	菅田
副将	鈴木	1メ、メ	姫野
大将	松井	反1	宇都宮
	小辻	コ、コ1コ	堀

※ 3—1 で勝ち

▽ 準々決勝

先鋒	福井		福岡
次鋒	中村	メ1コ	池田
中堅	林田	メ、メ1メ	國友
副将	鈴木	メ1メ、コ	久保山
大将	松井	1ド	本多
	小辻	1コ	蓮尾

※ 1—3 で負け
ベスト 8 (第5位入賞)



大会所感

成年男子監督 山本 英俊

昨年度の栃木国体では1回戦で北海道に勝利したものの、2回戦の東京都(警視庁)にはわずかに及ばず、実に悔しい敗戦を経験しました。この雪辱を果たすべく、本県選手団は、

礼法等の基礎・基本から気を充実させ、堀江強化部長のご指導の下、発声や有効打突のレベル向上を目的とした強化稽古(毎週木曜)や県外強豪選手との練習試合を積み重ねてきました。その結果、選手の士気は現地入りする前から非常に高いものがありました。また、会場ではスーパーアドバイザーの佐藤成明先生や高橋俊昭先生、相模利朗先生から一戦一戦力強い激励のお言葉をいただき、益々気力を充実させて本番に臨むことができました。

2回戦の栃木戦では、先鋒中村選手が立ち上がりにも攻め込まれコテを先取されたものの、落ち着いて相手の起こりに鮮やかな出コテと相メンを制して2本勝ち。続く次鋒林田選手は、細かく足を使いながら相手の動きを冷静に見定めつつ、つば競り合いからの引きメンと相手のツキに對して下がりながらメンを決めて2本勝ち。続く中堅鈴木選手も中心の取り合いから思い切つて攻め込み、豪快な飛び込みメンを先取しましたが、打ちに出たところを抜かれてメンを2本取られ、惜しくも敗退。副将の松井選手は、終盤まで果敢に間合いを詰めて相手の機先を制し、狙いを定めさせない状況でありましたが、引きメン、及び攻められて手元が浮いたところでコテを取られて2

本負け。この時点で勝ち数、取得本数ともに回数となりました。大将戦となった小辻選手と敵陣の大将の試合は、重厚な攻め合いから始まり、攻め続けて相手が居ついたところで、つば競り合いから引きメンを先取しました。その後、相手は取り返そうと必死に攻め込んで来たため、それをかわし防いでいましたが、中盤でメンを打たれて、最後の1本勝負となりました。ここで終盤小辻選手は、闘志溢れる氣勢を奮い起こしてしつかりと攻めを立て直し、相手が間を詰めてメンに出てくるところで相手の技を見透かしたように切れのあるコテを決め、3回戦進出を果たしました。

大会2日目第1試合の3回戦の半分戦では、先鋒中村選手が試合前半に遠間からメンに仕掛けたところをメンで合され先取されましたが、その後も冷静に相手の出方を探りながら思い切りの良い技を繰り出し、終盤に鮮やかな引きメンを決めて引き分け。次鋒林田選手は、鋭い攻め込みで相手の手元を浮かし、切れのあるコテを先取。その後、しばらく間合いの攻防があり、今度も鋭い攻め込みで相手を崩し、目にも止まらぬ速さで豪快なメンを決めて2本勝ち。続く中堅鈴木選手は、引きメンと間合いを詰めたところでメンを取られ

2本負け。この時点で勝ち数、取得本数ともに同数となりました。副将の松井選手は、軽快な足さばきで思い切りの良いメンや返しドウなど、積極的に技を繰り出しました。有効にはなりませんでしたが、相手の不当なつば競り合いの反則2回で1本を先取し、そのまま相手の技を有効にさせず、時間切れで1本勝ち。勝ち数をリードして迎えた小辻選手と敵陣の大將は激しい気争いの中、しっかりと間合いをとり、相手の技に対して空を切らせていましたが、消極的であるとのことで時間空費の反則を取られました。その後、相手が焦ってメンに出るところをコテで先取しました。しかし、相手はその後もしりじりと間合いを詰めて小辻選手が防ごうとする際にコテを打たれました。勝負となり、小辻選手の攻めが一瞬早く、それに対してメンに出てくるところで鋭くコテを打ち、見事に準々決勝進出を決めました。

準々決勝の福岡県戦では、先鋒中村選手が筑波大学の池田選手と対戦し、激しい打ち合いとなりました。同年代の強豪選手との対戦経験が豊富な中村選手は、相手の出頭や居つきを狙って技を展開し、相手のツキに対して出頭メンを先取しました。その後、相手の攻めに対してメンに出たところでコテを打たれました。

終盤は互角の攻防で、そのまま時間切れとなり、引き分け。続く次鋒林田選手は、全日本選手権優勝経験者でもある福岡県警の國友選手と対戦し、相手を崩していこうとするお互いの激しい気争いと一瞬を捉えようとする技と間合いの攻防があり、見ている側もとてもハラハラする展開でした。中盤でお互いが打ち間に入り、気がぶつかった瞬間、相手のメンが早く先取されました。その後、林田選手が鋭く間を詰め、相手が居つき防御しようとした際に、これもまた目にもとまらぬ速さで裏から豪快なメンを取りました。勝負となり、林田選手の攻めが圧倒してくると、今度はつば競り合いから鮮やかな引きメンを決め、2本勝ちしました。続く中堅鈴木選手は、修猷館高校教員の久保山選手と対戦し、立ち上がり間を詰めて相手のメンに対して返しドウをタイミング良く打ちましたが、相手のメンを確実に防ぐことができず、惜しくもメンを先取されました。その後も鈴木選手は先に間合いを詰めて機会を狙い、中盤で豪快に相メンを制しました。終盤で不当なつば競り合いの反則を取られると、今度は先につば競り合いを解消しようとして引いた後に先に攻め込まれ、手元が浮いた瞬間にコテを打たれて惜しくも敗退。この時点で勝ち数、取

得本数ともに同数となりました。副将の松井選手は、福岡県警の本多選手と対戦し、お互いが充実した氣勢で中心を取り合いながら松井選手の思い切りの良いメン技や相手の技を有効にさせない立ち回り等、優勢に試合が展開される中、中盤で幾度かつば競り合いからお互いが間合いを取った後、松井選手のメンに対して返しドウを先取されました。その後、松井選手の引きメンが相手の面を捉えましたが、惜しくも有効とならず、時間切れとなり、1本負け。後を追いかける形となった大將の小辻選手は福岡県警の連尾選手と対戦し、立ち上がりにしりじりと間合いを詰め浮かせコテを放ちましたが、惜しくも部位をとらえきれずに有効とはなりませんでした。この後も機先を制する攻めで相手を再三にわたって崩し、ツキなど実に有効に近い技を出しましたが、終盤にメンに出た後コテを打たれそのまま時間切れとなり、準決勝進出は惜しくもかないませんでした。

会場には、福井県スポーツ協会の本部役員の方々や福井県立武道館小林館長も連日駆けつけてくださり、激励していただきました。佐藤先生、高橋先生、相模先生、また全国各県の役員や選手の皆さんからも昨年度の栃木国体に続く健闘を称える温か

いお言葉を頂戴しました。高橋先生や相模先生からは、試合内容についての厳しくも温かいご指導、及び今後の強化に関するご教示を賜りました。今回の成果をもとに来年の佐賀国民スポーツ祭の入賞に向けて、本県関係者が一丸となつて強化稽古に取り組んでいきたいと考えております。関係者の皆様にはこの場をお借りして改めて心から感謝申し上げます。



第18回全日本都道府県対抗 少年剣道優勝大会

令和5年9月17日(日)

於 おおきにアリーナ舞洲

中学生の部で 福井県チーム ベスト8入賞!

大阪府剣道連盟主管の「第18回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会」が9月17日(日)、大阪市のおおき

にアリーナ舞洲で開催されました。中学生の部で福井県チームが予選リーグ2勝で1位、決勝トーナメントに進出。トーナメント1回戦の宮崎県チームを3-2で勝ち準々決勝に進出、準々決勝では強豪の福岡県チームと対戦、1-2で惜敗し、ベスト8に入賞しました。

■小学生の部

7月8日(日)に開催した「代表最終選考会」で代表を獲得した5人が福井県チームとして出場しました。

- 先鋒 佐々木海緒選手 (福井今立道場)
- 次鋒 中村将希選手 (福井養正館)
- 中堅 脇本滉大選手 (新風館愛宕坂道場)
- 副将 三田村幸志郎選手 (福井今立道場)
- 大将 元井汰希選手 (福井養正館)

予選リーグで宮城県と1-1の引き分け、高知県とは0-2で負け、予選3位で決勝トーナメントには進めませんでした。

【予選リーグ】

福井県		宮城県
佐々木	引き分け	今野
中村	1メ	五十嵐
脇本	引き分け	森
三田村	引き分け	高橋
元井	ド1	千葉

福井県		高知県
佐々木	1メ	楠岡
中村	引き分け	川上
脇本	引き分け	市木
三田村	1コ	西森
元井	引き分け	寺村

※予選リーグ1敗1分けで3位、決勝トーナメント進めず



観戦記

少年委員会 塚田 直人

9月16日(土)に午後から会場入り、前日稽古と練習試合(岡山・山形・大阪B・静岡)を行い、大会当日を迎えました。

予選リーグ1試合目。前半先行されましたが、中堅の脇本選手が惜しい技を繰り出しましたが一步及ばず引き分け。大将戦では中盤で元井選手がドウを奪い追い付きました。こ

こで相手の大将が過呼吸となり5分間の中断。再開後は攻め切れず1本勝ちで引き分け。

予選リーグ2試合目。今年のキャプテンの先鋒佐々木選手の負けを取り返そうと、次鋒中村選手、中堅脇本選手が果敢に攻めるも決められず。副将の三田村選手は開始早々前にも手元が上がったところにコテを決められ、その後攻めきれず、ここで予選リーグ敗退が決まりました。選手たちは、補欠の福岡選手も含め、なかなか集まって稽古ができませんでしたが、少ない機会を大事に努力してきました。それでも予選リーグを勝ち上がることは出来ず悔しい思いをしました。

その後、中学生の応援をし、先輩たちの活躍に中学生になってこの場に居ることを誓いました。

■中学生の部

中体連主催の強化練成会や各種大会、最終選考会などを経て代表権を獲得した補員含む7名の選手が福井県選抜チームとして本大会に出場しました。

- 先鋒 藤田ひかり選手 (鱈江中学校)
- 次鋒 西山倫代選手 (中央中学校)
- 中堅 松口直次郎選手 (松陵中学校)
- 副将 山田典悠選手 (南越中学校)
- 大将 元井颯汰選手 (松陵中学校)

【予選リーグ】

福井県		山形県
藤田	1メ	佐藤
西山	コ、メ1	須藤
松口	メ1	工藤
山田	ド、メ	多田
元井	コ、メ1	高田
福井県		高知県
藤田	1コ	石川
西山	コ、メ1	壺原
松口	メ1	山口
山田	メ、メ1	和田
元井	メ1コ	小倉

※予選リーグ2勝で1位
決勝トーナメントへ

【決勝トーナメント】

▽1回戦

福井県		宮崎県
藤田	メ1	天堀
西山	引き分け	増田
松口	メ、メ1	梅原
山田	メ、ド1	柏原
元井	ドド	伊東

▽2回戦

福井県		福岡県
藤田	1コ、メ	木原
西山	メ1メ	川原
松口	ド	久保田
山田	メ1	栴崎
元井	引き分け	北原

※準々決勝敗退、ベスト8入賞

▽1回戦

大西ななみ(五段) 反一

池田仁美(兵庫県、四段)

第62回全日本女子
剣道選手権大会

令和5年9月3日(日)

於 ジェイテクトアリーナ奈良

「第62回全日本女子剣道選手権大会」が9月3日(日)、奈良県橿原市のジェイテクトアリーナ奈良で開催され、本県からは7月17日の「福井県知事杯第20回福井県剣道選手権大会」で優勝した大西ななみ選手(敦賀高校教員)が6年連続9回目の出場をしました。結果は次の通りです。



▽1回戦

林田匡平 一メ、メ

坂本大河(山梨県)

▽2回戦

大西ななみ 一延ド

宮沢彩夏(埼玉県、四段)

第71回全日本剣道選手権大会

令和5年11月3日(金・祝)

於 日本武道館

全日本剣道連盟主催の「第71回全日本選手権大会」が11月3日(金・祝)、東京都の日本武道館で全国各都道府県代表の64人が出場し、トーナメント戦で行われました。本県からは7月17日の「福井県知事杯第20回福井県剣道選手権大会」で優勝した林田匡平選手(丸岡高校教員、六段)が4年連続6回目の出場、残念ながら1回戦で山梨県代表の坂本大河選手(四段)に敗れました。優勝は塚田龍介選手(広島県)が初出場で初優勝、準優勝は松崎賢士郎選手(茨城県)、3位は星子啓太選手(東京都)と竹ノ内祐也選手。前回覇者の村上哲彦選手(愛媛県)は1回戦で敗れました。

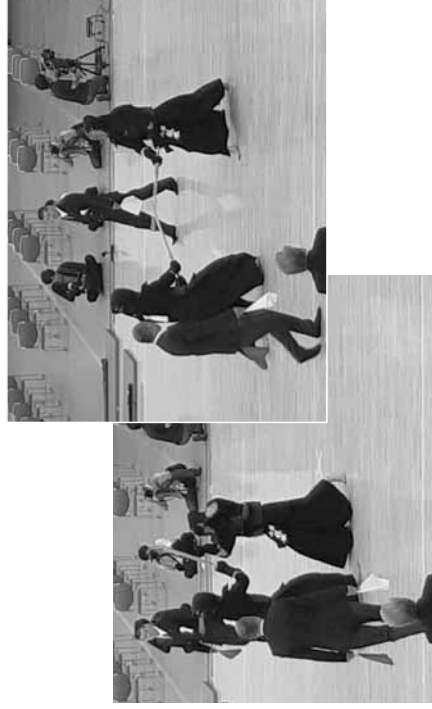
【林田選手の結果】

観戦記

(一財)福井県剣道連盟

常務理事 堀江 範雄

11月3日、日本武道館において「第71回全日本剣道選手権大会」が開催されました。本県役員及び応援として西川専務理事、山本常務理事、私(堀江)の3人が上京し、今年の日本一は誰か?期待しながら九段下の坂を歩きました。全剣連綱代会長の、「幾多の困難を乗り越えて発展してきた剣道は、今後も皆さんの力添えが必要であり、剣道の真髄を追



及し、正しい剣道指導により、人通りの貢献と良き伝統を後世に継承することに本大会を通して伝わることを期待しています」との意味の深い挨拶がありました。

その後、岐阜県の下島範士(打太刀)と滋賀県の重松範士(仕太刀)による日本剣道形があり、改めて形から成り立つ剣道の真髄を見せて頂きました。

武道館の大大鼓を合図に試合が開始されました。昨年度は前半戦で敗退した星子選手(警視庁)や竹ノ内選手(警視庁)は順当に勝ち上がりましたが、前回優勝者の村上選手(愛媛県警)は延長の末初戦で敗退するなど、勝負は紙一重と感しました。

本県代表の林田匡平選手は、1回戦最後の試合に登場しました。相手は初出場で山梨県の坂本大河選手(刑務官)です。試合開始、林田選手は構えて張ろうとするところを、相手の坂本選手は手探りもなく、ただ簡単に間合いに入り技を繰り出し、なかなか林田選手も捉えること出来ず、メンを返そうとしたところを打たれてメンを先取されました。2本目に入り相手がメンに来たところを捌き、相手は倒れたのですが旗が2本上がりメンで勝負あり。見ていて何が起こったのか分からないまま試

合が終わり、もう少し試合をさせたかったと感じましたが、相手の坂本選手も「負けたくない、普通では勝てない、構えたら負ける」とこの作戦をした結果であろうと思いました。試合後、林田選手に労いの言葉をかけに行きましたが、「すみません」ばかりで、林田選手の心労はかなりあったと思いました。もしかするとこちらの方が、知らず知らずに重責を負わせたのではないかと反省しました。林田選手の負けても真面目な真摯な態度に感銘しました。あれだけ稽古をしていても勝負の神様は勝たせてはくれない。日本武道館の怖さ、何が起るかわからない。しかしその中で勝ち上がって日本一になる者の見えない力、「勝ちに不思議な勝ちあり、負けに不思議な負けなし」これが全て合致した時に夢は叶えられるのであったと思いました。

大会結果は皆様もご承知のとおり、初出場で初優勝の藁田選手（広島県警）で、試合を見ていても思い切りのある剣道が印象的でした。素晴らしいと感じました。

今回大会の全体を見て、「初出場選手が多く時代は変わりつつある。しかしベテラン選手もまだまだ頑張っている。改めて自分も頑張らなくてはならない」と感じ、今年の武道館を後にしました。環境が整っている

か勝てるのではない。「勝ちに不思議な勝ちあり。負けに不思議な負けなし」目に見えない努力が必要であると今年も確認した次第であります。次は、あなたの番です！

第65回全国教職員剣道大会

令和5年8月10日(木)

於 松江市総合体育館

「第65回全国教職員剣道大会」が島根県松江市の松江市総合体育館で開催され、本県からは団体戦と、男子個人の部で林田匡平選手（丸岡高校教員）、女子個人の部で大西ななみ選手（敦賀高校教員）が出場しました。女子個人の部で大西選手がベスト8、男子個人の部で林田選手がベスト16。団体戦は1回戦強豪の熊本に粘り強い試合で勝利し、2回戦は前回大会に引き続き、今大会も優勝し連覇を果たした東京都と対戦し、惜しくも敗退となりました。試合結果は以下の通りです。

【団体戦】

▽1回戦

	福井県	熊本県
先鋒	梅田 引き分け	井上
次鋒	三井 引き分け	澤田
中堅	林田 コ、メ	井柄
副将	松井 一メ	山本

大将	小辻 引き分け	宮本
※本数勝ち		
▽2回戦		
	福井県	東京都
先鋒	梅田 一メ、コ	岩部
次鋒	三井 一メ、メ	八木
中堅	林田 一メ、メ	安藤
副将	松井 一メ、コ	天野
大将	小辻 一メ	合田
※2回戦敗退		

【男子個人戦】

▽1回戦

林田 メ、メ 橋本（岡山）

▽2回戦

林田 メ 宮崎（長崎）

▽3回戦

林田 一メ 中根（茨城）

（延長）

※ベスト16



【女子個人戦】

▽1回戦

大西 メ 続木（京都）

▽2回戦

大西 メ 安田（香川）

▽3回戦

大西 メ 森田（群馬）

▽準々決勝

大西 一延下 山村（佐賀）

※ベスト8



団体戦

**中央中学校女子が優勝！
松陵中学校男子が第3位！**



第44北信越中学校剣道大会

令和5年8月1日(火)
於 松任総合運動公園体育館
(石川県白山市)

男子個人戦

**松陵中 元井颯汰選手が優勝！
松口直次郎選手が第2位！**



男子個人戦、ワンツーフイニッシュを遂げた松陵中学校の元井颯汰選手(右)と松口直次郎選手(左)



【男子個人】

- 1位 元井 颯汰 (松陵中)
- ※福井県勢としては25年ぶりの快拳
- 2位 松口直次郎 (松陵中)
- 5位 山田 典悠 (南越中)

▽準決勝

- 松陵中 1(代表負け)―1 小針中(新潟県)
- ※松陵中学校は第3位入賞

▽1回戦

- 松陵中 3―1 北辰中(新潟県)
- 三方中 1(本数負け)―1 奥田中(富山県)

【決勝トーナメント】

- 予選リーグD 松陵中 1位
- ※決勝トーナメント進出

- 予選リーグC 三方中 2位
- ※決勝トーナメント進出

- 予選リーグA 中央中 4位
- ※予選リーグ敗退

【男子団体】

本県勢の結果は次の通りです。

「第44回北信越中学校剣道大会」が8月1日(火)、石川県松任総合運動公園体育館で開催され、女子団体で本県代表の中央中学校が27年ぶりに優勝。男子個人では松陵中学校の元井颯汰選手が25年ぶりに優勝、同校の松口直次郎選手が第2位とワンツーフイニッシュ。本県勢が大躍進を遂げました。

▽決勝

- 中央中 2―0 中能登中(石川県)
- ※中央中学校は優勝(福井県勢として27年ぶりの快拳)

▽準決勝

- 中央中 2―1 宇ノ気中(石川県)

▽1回戦

- 中央中 1―0 燕中(新潟県)
- 鯖江中 1―2 中能登中(石川県)

【決勝トーナメント】

- ※予選リーグ敗退

- 予選リーグD 4位 朝日中
- ※決勝トーナメント進出

- 予選リーグB 1位 中央中
- ※決勝トーナメント進出

- 予選リーグA 1位 鯖江中

【女子団体】



男子個人5位入賞の山田典悠選手(南越中)

観戦記

県中体連剣道専門部
広報部 大平 達也

女子団体戦には、中央中学校、鯖江中学校、朝日中学校が出場し、中央中学校と鯖江中学校は予選リーグを全勝し、共に予選1位で決勝トーナメントに進出した。決勝トーナメント1回戦では、中央中学校は新潟県の燕中学校と対戦し、次鋒の勝利を守り切り1対0で勝利した。鯖江中学校は石川県の中能登中学校と対戦し、次鋒が勝利し先手を取ったが、副将と大将が共に終了間際に取りられ1本負けとなり、1対2で惜敗した。準決勝では、中央中学校は石川県の宇ノ気中学校と対戦し、先鋒の守選手が序盤に有効打を決め、中堅戦の

【女子個人】

5位 藤田ひかり (鯖江中)



森川選手も返しドウを決め、試合を優位に進め2対1で勝利した。決勝では、中央中学校は石川県の中能登中学校と対戦した。先鋒戦を守選手が引き分け、次鋒の廣中選手がメンを立て続けに取り2本勝ちを収めた。中堅戦は森川選手が中盤に返しドウを先取したが、すぐにメンを取り返され引き分けに終わった。副将戦は中村選手が引きメンを決め1本勝ちを収めた。大将の西山選手は引き分けで2対0で勝利し、見事優勝を勝ち取った。女子団体の福井県勢の優勝は27年ぶりの快挙である。

男子団体戦には、松陵中学校、三方中学校、中央中学校が出場し、松陵中学校は全勝し1位で、三方中学校は2位で決勝トーナメントに進出した。決勝トーナメント1回戦では、松陵中学校は新潟県の北辰中学校と対戦し、先鋒戦から優位に試合を進め3対1で勝利した。三方中学校は富山県の奥田中学校と対戦し、先鋒戦から白熱した戦いが続き、大将戦までどちらが勝利するか分からない展開となったが、最後は逃げ切られ1対1の本数差で惜敗した。準決勝では、松陵中学校は新潟県の小針中学校と対戦し、次鋒戦で先勝したが中堅戦で取り返され、大将戦での勝負となったが、決着がつかず代表戦となった。延長の末惜敗し、松陵中

学校は3位入賞となった。

個人戦には男女6名ずつ出場した。女子個人戦では、鯖江中学校の藤田選手が5位入賞した。男子個人戦では、決勝戦で松陵中学校の元井選手と松口選手が対戦し、福井県同士での対決が実現した。元井選手が延長でコテを決め、優勝した。松口選手が準優勝、南越中学校の山田選手が5位入賞した。元井選手の個人戦優勝は、男子の福井県勢では25年ぶりの快挙であった。

大会全体を通して、福井県勢の快進撃が見られた。この勢いをそのままに、福井県・北信越の代表として全中大会での活躍を楽しみにしている。また、今回2年生の活躍も多々見られたので、来年新潟県で行われる北信越大会・全中大会に向けてさらなるレベルアップを期待したい。

第70回全国高等学校剣道大会

令和5年8月3日(木)～6日(日)

於 帯広市総合体育館

(よつ葉アリーナ十勝)

本県勢の試合結果は次の通りです。

【男子団体】

敦賀 1-2 広島皆実 (広島)

敦賀 0-1 上宮 (大阪)

※2敗 (予選リーグ敗退)

【女子団体】

敦賀気比 1-4 中村学園女子

(福岡)

敦賀気比 0-5 三養基

(佐賀)

※2敗 (予選リーグ敗退)



【女子個人】

▽1回戦

杉本和香(敦賀) 1-0
櫻井心結(五泉・新潟)

▽2回戦

森川沙恵(敦賀) 1-0
阿部真莉愛(東奥義塾・青森)



男子個人3回戦進出の笠嶋洸瑠選手(丸岡高)

【男子個人】

▽1回戦

森陽輝(敦賀) 1-0
井上響喜(横田・島根)
笠嶋洸瑠(丸岡) コー
野村将聖(甲府南・山梨)

▽2回戦

笠嶋 0-0 石田心海
(盛岡南・岩手)

▽3回戦

笠嶋 1-0 波多野準也
(大社・島根)

【少年男子】

先鋒 佐野孝精(敦賀高)
次鋒 山下慶也(丸岡高)
中堅 笠嶋洸瑠(丸岡高)
副将 本島大成(福井工大福井高)
大将 森陽輝(敦賀高)
監督 岩谷治彦(敦賀高教員)

福井 2-0 長野
福井 2-0 石川
福井 4-0 富山

少年男子、成年女子が1位
鹿児島国体へ出場

第44回北信越国民体育大会

令和5年8月27日(日)
於 糸魚川市民総合体育館



【少年女子】

先鋒 岸本歩愛(敦賀高)
次鋒 山下心優(敦賀高)
中堅 江戸沙耶(敦賀高)
副将 杉本和香(敦賀高)
大将 森川沙恵(敦賀高)
監督 西川航平(美方高教員)

福井 0-1 新潟
福井 2-1 石川
福井 0-0 (代表勝ち) 富山
福井 2-1 長野
1位 新潟 鹿児島国体へ出場



福井 2-1 新潟
1位 福井 鹿児島国体へ出場
2位 富山
3位 新潟
4位 長野
5位 石川

【成年女子】

先鋒 大西ななみ(敦賀高教員)
中堅 細川梨絵
(日体大桜華中・高教員)
大将 山田聖子
(福井工大福井高教員)
監督 大西ななみ(敦賀高教員)

福井(代表勝ち) 1-1 石川
福井(代表勝ち) 0-0 長野
福井 1-0 新潟
福井 2-0 富山
1位 福井 鹿児島国体へ出場
2位 石川
3位 新潟
4位 長野
5位 富山



【女子の部】

優勝 新潟大学
準優勝 福井工業大学
3位 金沢学院大学

【男子の部】

優勝 福井工業大学
準優勝 新潟大学
3位 金沢大学
※福井大学は予選リーグ3位、福井県立大学は予選リーグ4位で、決勝リーグに進出できず。

福井工大男子が3連覇！ 女子は準優勝

北信越学生剣道連盟主催（後援：福井県剣道連盟）の「第65回北信越学生剣道優勝大会」が9月10日（日）、福井県立武道館で開催され、福井工業大学男子が3連覇を遂げ、女子は準優勝でした。男子は11月5日（日）、エナイオンアリーナ大阪で開催される「第71回全日本学生剣道優勝大会」に、女子は11月10日（日）愛知県春日井市の春日井市総合体育館で開催される「第42回全日本女子学生剣道優勝大会」への出場権を獲得しました。

試合結果は次の通りです。

第65回北信越学生剣道優勝大会

令和5年9月10日（日）
於 福井県立武道館

【女子の部】

◇東軍
中堅 山田聖子（六段、越前地区）
―延 メ 馬越千里
（錬士七段、愛媛県）

第69回全日本東西対抗剣道大会

令和5年5月24日（日）

於 沖縄県立武道館 アリーナ棟
全日本剣道連盟主催の「第69回全日本東西対抗剣道大会」が9月24日（日）沖縄県那覇市の沖縄県立武道館 アリーナ棟で開催され、福井県から山田聖子選手（六段、越前地区）が女子の部の東軍中堅、林田匡平選手（六段、福井地区）が男子の部の東軍先鋒で出場しました。優勝は男女共に西軍でした。

試合結果は次の通りです。



男子の部優勝の福井工業大学

【予選リーグ】

松陵中 1―0 南橋中（群馬県）
松陵中 3―0 磐田東中（静岡県）

松陵中学校（男子）が 第3位入賞！

2024年8月に新潟県で開催される「第54回全国中学校剣道大会」の開催準備を兼ねた「同大会 プレ大会」が10月8日（日）、新潟県剣道連盟の主催で同大会の会場となる新潟市の「東総合スポーツセンター」で開催されました。本県からは敦賀市の松陵中学校（男子）が招聘され、男子団体で第3位に入賞しました。

試合結果は次の通りです。

令和5年10月7日（土）～8日（日）

於 東総合スポーツセンター
（新潟市）

第54回全国中学校剣道大会 （新潟全中）プレ大会

東軍 6勝 ― 西軍 13勝

先鋒 林田匡平（六段、福井地区）
―ド、メ 土谷有輝
（六段、大阪府）

◇東軍

【男子の部】

東軍 2勝 ― 西軍 4勝

【道場対抗試合】

▽1回戦
福井養正館 2―3 明德館（埼玉県）

元井（汰） メ、コ― 加藤
元井（颯） メ、メ―ド 荒井
柳川 ― メ 福居
元井（健） ― メ 岡沢
北村 ― メ、メ 内田

第39回全国道場対抗剣道大会・ 全国道場少年剣道選手権大会

令和5年10月15日（日）

於 埼玉県立武道館

全日本剣道道場連盟主催の「第39回全国道場対抗剣道大会・全国道場少年剣道選手権大会」が10月15日（日）、埼玉県上尾市の埼玉県立武道館で開催されました。本県からの出場選手と結果は次の通りです。

※第3位入賞

朝霞二中（埼玉県）

松陵中 0―2

▽準決勝

関中（東京都）

松陵中 1（代表勝ち）―1

▽準々決勝

西和中（和歌山県）

松陵中 1（本数勝ち）―1

▽1回戦

【決勝トーナメント】

【小学生男子の部】

▽1回戦

元井汰希(福井養正館)
×1 厚地咲哉
(鮎田少年剣道クラブ・熊本)

▽2回戦

元井汰希 1× 多田伊吹
(京都久御山真武館・京都府)



福井養正館チーム 左端は中学生個人出場者の常田和太郎選手



【中学生女子の部】

▽1回戦

森川瑞紀(福井今立道場)
コ1メ、コ 堀江紗奈
(敬武館・神奈川県)

▽2回戦

常田和太郎
コ1メ、判 中嶋颯志
(狹善剣道スポーツ少年団・山口県)

【中学生男子の部】

▽1回戦

常田和太郎(福井養正館)
コ1 塩田大智
(雄信館内山道場・秋田県)

【小学生女子の部】

▽1回戦

岩谷明依(福井養正館)
ド1メ、メ 山中及愛
(佐貫清心会・千葉県)



元井汰希選手(左)と岩谷明依選手(右)共に福井養正館

【七段の部】

▽1回戦

大嶋雅典(越前地区)
0-3 中島晋吾(大阪府)
※1回戦敗退

第58回全日本居合道大会

令和5年10月21日(土)

於 東京武道館

全日本剣道連盟主催の「第58回全日本居合道大会」が10月21日(土)、東京都の東京武道館で開催されました。本県からは七段の部に大嶋雅典選手(越前地区)、六段の部に西出和男選手(越前地区)、五段の部に長谷川翔平選手(福井地区)の3選手が出場しました。

結果は以下の通りです。



森川瑞紀選手(福井今立道場、左)

令和5年度愛道連杯争奪
全国少年剣道錬成大会

令和5年10月22日(日)

於 パークアリーナ小牧
(愛知県小牧市)

全国各地の少年剣士との交流親睦

【団体総合順位】

福井県 46位

【五段の部】

▽2回戦

長谷川翔平(福井地区)
0-3 藤田泰央(三重県)
※2回戦敗退

【六段の部】

▽1回戦

西出和男(越前地区)
0-3 紺野博文(栃木県)
※1回戦敗退



を深めて、剣道の楽しさ、厳しさ、奥深さを体感してもらい、広く少年剣道の発展普及に努めることを目的に、愛知県剣道道場連盟は10月22日(日)、愛知県小牧市のパークアリーナ小牧で、「愛道連杯争奪全国少年剣道錬成大会」を開催しました(本年度より「近藤杯」から同大会名に変更)。本県からは福井今立道場、福井養正館、敦賀市剣道スポーツ少年団、鯖江剣道団、鯖江志士樹館道場が参加しました。

試合結果は次の通りです。

【小学生低学年の部】

福井今立道場 2 回戦敗退

【小学生の部】

福井今立道場 4 回戦進出

福井養正館 2 回戦敗退

敦賀市剣道スポーツ少年団
2 回戦敗退

【中学生の部】

福井養正館 A 4 回戦進出

福井養正館 B 1 回戦敗退

鯖江剣道団 2 回戦敗退

鯖江志士樹館道場 2 回戦敗退

福井今立道場 1 回戦敗退

【中学生女子の部】

鯖江志士樹館道場 A 3 回戦進出

鯖江志士樹館道場 B 2 回戦敗退

福井今立道場 2 回戦敗退



鯖江剣道団



鯖江志士樹館道場



敦賀市剣道スポーツ少年団

**第35回全国健康福祉祭えひめ大会
(ねんりんピック
笑顔のえひめ2023)
剣道交流大会**

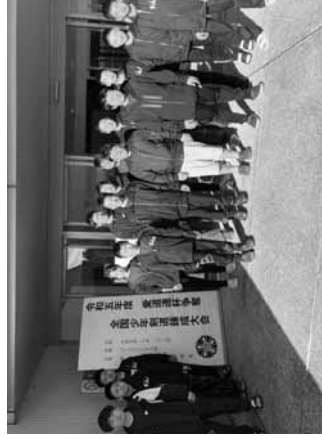
令和5年10月28日(土)～30日(月)

於 愛媛県武道館

「第35回全国健康福祉祭えひめ大



福井今立道場



福井養正館

会(ねんりんピック笑顔のえひめ2023)剣道交流大会」が10月28日(土)～30日(月)、愛媛県松山市の愛媛県武道館で開催され、本県からは4月の県予選会で選出された酢谷一司選手(福井地区)、上嶋啓芳選手(敦賀地区)、宮川保則選手(越前地区)、小堀勝広選手(三方地区)と、監督兼任で奥井俊雄選手(敦賀地区)の5選手が福井県チームとして出場。予選は4チームによるリンク方式のリーグ戦で、山梨県と地元愛媛県Aと対戦。善戦ながらも2敗し予選4位、決勝トーナメントには進出できませんでした。

試合結果は以下の通りです。

【予選リーグ 8ブロック】

福井県		山梨県
酢谷	1メ、メ	中田
上嶋	引き分け	田邊
宮川	コ引き分け	メ 井貝
小堀	引き分け	山本
奥井	コ1メ、コ	菅谷
※0―2で負け		

福井県		愛媛県A
酢谷	1メ、メ	濱田
上嶋	1メ、コ	渡辺
宮川	1ド、メ	久保田
小堀	コ、メ1	清水
奥井	1メ、メ	田邊
※1―4で負け		

▽大会結果

優勝 愛媛県A



▽予選リーグの結果

- | | | |
|----|------|-------------------|
| 1位 | 愛媛県A | 2勝 |
| 2位 | 浜松市 | 1勝1敗
(総取得本数7本) |
| 3位 | 山梨県 | 1勝1敗
(総取得本数6本) |
| 4位 | 福井県 | 2敗 |

チーム揃っての稽古、試合稽古は7月17日(月・祝)富山市での「第2回北信越高齢者武道大会」への参加、9月24日(日)越前市の禮樂堂での壮行稽古会、10月14日(土)福井県立武道館での「淡海剣友会・福井県寿康会親睦剣道交流稽古会」と少ない強化・錬成でしたが、奥井選

手は4度目、小堀選手は2度目、宮川選手は3度目、上嶋選手は3度目の出場と経験豊かな選手揃いで、大会の雰囲気、試合方法、試合に臨む姿勢など初出場の酢谷選手にアドバイスしながら大会に臨みました。

【感想】

上嶋 啓芳

本年4月の県予選会で選出された酢谷一司選手(福井地区)が先鋒、上嶋啓芳選手(敦賀地区)が次鋒、宮川保則選手(越前地区)が中堅、小堀勝広選手(三方地区)が副将、奥井俊雄選手(敦賀地区)が大將兼監督で福井県チームとして出場しました。

- | | |
|----|-----|
| 2位 | 群馬県 |
| 3位 | 大分県 |
| 4位 | 茨城県 |

28日のねんりんピック笑顔のえひめ2023
総会開会式

第2試合は予選リーグ最後の試合

で16時過ぎに始まる。対戦お相手は

地元愛媛県Aチームで完全アウェー。

試合開始の整列をすると、開催地として負けれないという意気込みがひしひしと伝わってきた。先鋒酢谷選手は1試合目の負けを取り返そうと

と気迫十分で臨むが動きの速いお相手にメンを2本とられ負け。次鋒上嶋選手のお相手は身長180センチ位の長身、見下ろすように前に出て攻めてくる。取り返そうと果敢に攻めるが、数度の鏝競り合いから引き

メンを取られる。その後数度の交差、攻め合いの中からタイミングよく諸手ツキを放ち、感触よく決まったように思うが旗は上がりず。その後更にメンに出たところを出コテを取られる。中堅宮川選手も取り返そうと

気迫で攻めるが、お相手が狙っていた様に逆ドウを決める。その後も取り返そうと攻め続けるがメンに乗られる。勝負は決まったが副将小堀選手は何とか勝ちを取ろうとタイミン

グを見図り、お相手がメンに来たところをすかさず得意の出コテを決める。その後も気迫の攻めを続けお相手がのけ反つたところをメンに乗り

2本勝ち。大將の奥井選手も堂々とした態度姿勢で果敢に攻め、1本を取りに行くが先に出ばなメンを取られ、その後も取り返しに行くところ

に残り5秒でコテを取られての負けは残念。

第1試合山梨県との対戦では、先鋒酢谷選手は緊張感で堅さが見えるなかでメンを2本とられ負け。次鋒上嶋選手は取り返そうと果敢に攻めるがお相手も負けじと攻め返すシーンが何度も見られ、お互い決まらず引き分け。中堅宮川選手も取り返そうと攻めるが先にメンに乗られる。しかしその後も取り返そうと攻め続け、お相手がメンに来るところを切れ味鋭い出コテを決め、引き分けとなる。副将小堀選手も得意のコテで何度も攻め続けるが、お相手が警戒して後退気味で捉えることができず引き分け。後がなくなった大將の奥井選手も果敢に取りに行くが先に出ばなメンを取られ、その後は取り返

しに攻め続け見事な出コテを取る。

大会予選リーグは山梨県、浜松市と地元愛媛県Aとのリーグになり、リンク方式のため本県チームは山梨県、愛媛県Aと対戦することになりました。

大会予選リーグは山梨県、浜松市と地元愛媛県Aとのリーグになり、リンク方式のため本県チームは山梨県、愛媛県Aと対戦することになりました。

大会予選リーグは山梨県、浜松市と地元愛媛県Aとのリーグになり、リンク方式のため本県チームは山梨県、愛媛県Aと対戦することになりました。

大会予選リーグは山梨県、浜松市と地元愛媛県Aとのリーグになり、リンク方式のため本県チームは山梨県、愛媛県Aと対戦することになりました。

第2試合は予選リーグ最後の試合

で16時過ぎに始まる。対戦お相手は

地元愛媛県Aチームで完全アウェー。

試合開始の整列をすると、開催地として負けれないという意気込みがひしひしと伝わってきた。先鋒酢谷選手は1試合目の負けを取り返そうと

と気迫十分で臨むが動きの速いお相手にメンを2本とられ負け。次鋒上嶋選手のお相手は身長180センチ位の長身、見下ろすように前に出て攻めてくる。取り返そうと果敢に攻めるが、数度の鏝競り合いから引き

メンを取られる。その後数度の交差、攻め合いの中からタイミングよく諸手ツキを放ち、感触よく決まったように思うが旗は上がりず。その後更にメンに出たところを出コテを取られる。中堅宮川選手も取り返そうと

気迫で攻めるが、お相手が狙っていた様に逆ドウを決める。その後も取り返そうと攻め続けるがメンに乗られる。勝負は決まったが副将小堀選手は何とか勝ちを取ろうとタイミン

グを見図り、お相手がメンに来たところをすかさず得意の出コテを決める。その後も気迫の攻めを続けお相手がのけ反つたところをメンに乗り

2本勝ち。大將の奥井選手も堂々とした態度姿勢で果敢に攻め、1本を取りに行くが先に出ばなメンを取られ、その後も取り返しに行くところ

に残り5秒でコテを取られての負けは残念。

第1試合山梨県との対戦では、先鋒酢谷選手は緊張感で堅さが見えるなかでメンを2本とられ負け。次鋒上嶋選手は取り返そうと果敢に攻めるがお相手も負けじと攻め返すシーンが何度も見られ、お互い決まらず引き分け。中堅宮川選手も取り返そうと攻めるが先にメンに乗られる。しかしその後も取り返そうと攻め続け、お相手がメンに来るところを切れ味鋭い出コテを決め、引き分けとなる。副将小堀選手も得意のコテで何度も攻め続けるが、お相手が警戒して後退気味で捉えることができず引き分け。後がなくなった大將の奥井選手も果敢に取りに行くが先に出ばなメンを取られ、その後は取り返

しに攻め続け見事な出コテを取る。

大会予選リーグは山梨県、浜松市と地元愛媛県Aとのリーグになり、リンク方式のため本県チームは山梨県、愛媛県Aと対戦することになりました。

大会予選リーグは山梨県、浜松市と地元愛媛県Aとのリーグになり、リンク方式のため本県チームは山梨県、愛媛県Aと対戦することになりました。

大会予選リーグは山梨県、浜松市と地元愛媛県Aとのリーグになり、リンク方式のため本県チームは山梨県、愛媛県Aと対戦することになりました。

大会予選リーグは山梨県、浜松市と地元愛媛県Aとのリーグになり、リンク方式のため本県チームは山梨県、愛媛県Aと対戦することになりました。

敗ながらも地元のAチーム相手に果敢に挑んだ試合であり、満足感、出し切り感を感じた試合であった。翌日の決勝トーナメントではその愛媛県Aが優勝したが、予選リーグ2試合、決勝トーナメント4試合の合計6試合(5人×6試合＝30試合)の中で勝ったのは小堀選手だけ、今大会で光る1勝となった。

大会を通じて思ったのは、過去の出場大会に比べて各県チーム出場選手のレベルが高くなってきていること、特に前3人のレベルは年齢が若いこともありスピード、技のキレ、攻め続ける体力など、さすがに県を代表して出場している選手達だと感じました。会場で懇談し各県の状況をお聞きすると、県内での予選ではトーナメントで各部門とも5試合ぐらい勝ち上がらないと選手に選ばれない様子。高齢者と言えども層の厚さを感じました。またねりんピック大会の良さが浸透してきていて、各県内で出場したいという選手が増え、トップクラスの剣道愛好家が「国体(スポーツ大会)の後はねりんピック」という機運が盛り上がっているのでしょう。本県でもこのような機運が醸成され、県内予選会では多数の剣道愛好家が出場して選手選考し、強い福井県チームを構成すること、そして健康に気をつけなが

らお互い切磋琢磨し合い、福井県のレベルアップに繋がればと望みます。

第22回宮本武蔵顕彰 女子剣道大会(お通杯)

令和5年10月22日(日)

於 宮本武蔵顕彰武蔵武道館
(岡山県美作市)

第22回宮本武蔵顕彰女子剣道大会(お通杯)が10月22日(日)、岡山県美作市の宮本武蔵顕彰武蔵武道館で開催され、本県からは「選手3名の合計年齢10歳以上の部」に福井Aと福井Bの2チームが出場しました。結果は次の通りです。

【予選リーグ】

福井A 寝屋川市剣道協会
(大阪府)

先鋒 谷田 メ、メー 金谷
中堅 谷口 コ、コー 木村
大将 田中 引き分け 杉山
※2―0で勝ち

福井A 弥生会(兵庫県)

先鋒 谷田 引き分け 水田
中堅 谷口 引き分け 荒木
大将 田中 引き分け 岩崎
※0―0で引き分け

※勝数により予選リーグ2位、予選リーグ敗退

福井B 岡山女友会D
(岡山県)

先鋒 大味 ーメ、メ 諸田
中堅 安原 ード 木田
大将 島田 ーコ、メ 岡本
※0―3で負け

福井B 滋賀女子剣友会C
(滋賀県)

先鋒 大味 メー 和久田
中堅 安原 ード 宮口
大将 島田 ーメ、メ 寺原
※1―2で負け

※予選リーグ敗退

【感想】 監督 高嶋 寿美

10月22日(日)、岡山県美作市の宮本武蔵顕彰武蔵武道館にて「第22回宮本武蔵顕彰女子剣道大会」が開催されました。昨年に続き福井県からは「選手3名の合計年齢10歳以上の部」に2チーム出場しました。

開会式では和やかな雰囲気でしたが、いざ試合が開始されると各チームの闘志や緊張感溢れる厳しい空気が流れ、真剣勝負へと気持ちが高まってきました。

福井Aチーム、福井Bチームともに対戦相手に対し日頃の鍛錬を基に全力で立ち向かい素晴らしい技も出しましたが、残念ながら両チームとも予選リーグ敗退という結果となりま

した。福井Aチームは負けなしでしたが、勝数の差で決勝トーナメントに上がれず非常に惜しい結果でありました。リーグ戦の難しさ、そして1本の重みを実感しました。大会を終えて感じたことは、勝ち進んでいったチームは技が素晴らしいことはもちろんですが、やはり1本への執念が勝っているということです。今後の稽古では、1本1本を今まで以上に大切に研鑽していきたいと思えます。

当大会は全国から年齢層や選手層が幅広く選手が出場されるとても貴重な大会であり、その大会に出場できたことは幸せであり、一緒に出場した仲間や応援くださった方々に感謝の念で一杯です。来年度もより多くの方が大会に向けて切磋琢磨されることを期待いたします。



第71回全日本学生剣道優勝大会

令和5年11月5日(日)

於 Asueアリーナ大阪
(大阪市中央体育館)

学生剣道の男子団体で日本一を争う全日本学生剣道連盟など主催の「第71回全日本学生剣道優勝大会」が11月5日(日)、大阪市のAsueアリーナ大阪(大阪市中央体育館)で、全国8ブロックから代表64校が出場して行われました。本県からは北信越学生剣道優勝大会を制した福井工業大学が出場、1回戦で関東代表の日本大学と対戦、残念ながら2対5で敗れました。

結果は次の通りです。



第42回全日本女子学生 剣道優勝大会

令和5年11月12日(日)

於 春日井市総合体育館

剣道の大学女子団体日本一を決める「第42回全日本女子学生剣道優勝大会」が11月12日(日)、愛知県春



▽1回戦

福井工業大学	日本大学
先鋒 熊崎 トー	斎藤
次鋒 植野 一メ	岩村
五将 高谷 メー	小林
中堅 小本 一メ	岡
三将 大倉 一メ	安藤
副将 丸島 ド一メ、メ	石川
大将 菅藤 一コ	濱田

※福井工業大学は2勝5敗で敗れ
1回戦敗退

第61回北信越学生剣道新人大会・ 第45回北信越女子学生剣道新人大会

令和5年11月26日(日)

於 富山市総合体育館

日井市の春日井市総合体育館で開催され、9月の北信越地区大会で準優勝した福井工業大学が地区代表で出場。1回戦で関西地区代表の立命館大学と対戦、0対3で破れ、1回戦敗退しました。

▽1回戦

福井工業大学	立命館大学
先鋒 魚住 メ一メ、コ	安田
次鋒 石井 引き分け	井上
中堅 小山 一メ、コ	大西
副将 和田津 引き分け	重岡
大将 牛嶋 一コ、ド	坂口

※0勝3敗で1回戦敗退



【女子団体】

- 優勝 金沢学院大学
- 2位 金沢星稷大学
- 3位 福井工業大学
- 3位 新潟大学



【男子団体】

- 優勝 富山大学
- 2位 福井工業大学
- 3位 金沢大学
- 3位 新潟大学

北信越学生剣道連盟は11月26日(日)、富山市総合体育館で「第61回北信越学生剣道新人大会・第45回北信越女子学生剣道新人大会」を開催し、本県からは福井工業大学、福井大学、福井県立大学が出場しました。試合結果は次の通りです。

【男子個人】

- 優勝 大倉匠人 (福井工大)
- 2位 高桑大和 (富山大)
- 3位 清水周泰 (金沢学院大)
- 3位 上村晋平 (信州大)

【女子個人】

- 優勝 小山結衣 (福井工大)
- 2位 榎岡花菜 (金沢学院大)
- 3位 廣門 茜 (福井工大)
- 3位 石井 心 (福井工大)



大会・予選会・稽古会等

23県民スポーツ祭剣道競技
「市町対抗の部」

令和5年8月6日(日)
於 福井県立武道館

試合結果は次の通りです。

【熟年男子団体の部】

- 優勝 若狭町
- 準優勝 福井市
- 第3位 敦賀市
- 第3位 越前市A



【壮年男子団体の部】

- 優勝 福井市A
- 準優勝 越前市B
- 第3位 鯖江市A
- 第3位 若狭町

【成年男子団体の部】

- 優勝 坂井市A
- 準優勝 福井市A
- 第3位 越前市
- 第3位 鯖江市A



【壮年女子団体の部】

- 優勝 福井市A
- 準優勝 坂井市
- 第3位 あわら市
- 第3位 福井市B



【成年女子団体の部】

- 優勝 鯖江市B
- 準優勝 福井市
- 第3位 坂井市A
- 第3位 鯖江市A



越前市剣道連盟創立70周年記念 第52回福井県少年少女剣道錬成 武生大会

令和5年8月20日(日)
於 越前市アイシン
スポーツアリーナ

大会結果は次の通りです。

【団体試合】

- 優勝 福井今立道場
- 準優勝 福井養正館
- 3位 鳥羽スポーツ少年団剣道部
- 3位 木田剣道スポーツ少年団



3位の鳥羽スポーツ少年団剣道部



準優勝の福井養正館



優勝の福井今立道場

▽4年生以下男子C

- 優勝 山田 桃璃 (武生南剣道スポーツ少年団)

3位 西尾 鋺太朗

(松岡少年剣道教室)

3位 大久保 清太

(鳥羽スポーツ少年団剣道部)

▽4年生以下男子B

- 優勝 田中 湊真 (森田少年剣道教室)

3位 田辺 焔馬

(西部剣道スポーツ少年団)

▽4年生以下男子A

- 優勝 野村 耀生 (福井今立道場)
- 2位 大友 晟 (福井養正館)
- 3位 谷口 統威 (五常館)



3位の木田剣道スポーツ少年団

【個人試合】

▽6年生男子

- 優勝 脇本 滉大 (新風館)
- 2位 白澤 悠樹 (吉川スポーツ少年団剣道部)
- 3位 上原 颯真 (小浜少年剣道教室)
- 3位 渡邊 蓮城 (武道学園)

3位 砂畑 翔吏

(吉川スポーツ少年団剣道部)

3位 服部 晃大

(小浜少年剣道教室)

優勝 熊谷 颯馬

(福井養正館)

▽5年生男子B

- 優勝 熊谷 颯馬 (福井養正館)
- 2位 呉林 嵩太郎 (向笠剣道スポーツ少年団)

3位 森下 恵丞

(朝日剣道スポーツ少年団)

▽5年生男子A

- 優勝 長谷川 大誠 (向笠剣道スポーツ少年団)
- 2位 岸本 清広 (福井養正館)
- 3位 吉田 悠真 (越前少年剣道クラブ)

3位 角 潤之介

(社南剣道クラブ)

3位 柴田 雅己

(朝日剣道スポーツ少年団)

2位 定政 怜汰

(森田少年剣道教室)

▽ 6 年生 女子

- 優勝 脇本 想 (春江少年剣道教室)
- 2 位 轟 真衣 (立待スポーツ少年団剣道教室)
- 3 位 赤澤亜妃子 (武生南剣道スポーツ少年団)
- 3 位 服部 咲絆 (河和田剣友会)

▽ 5 年生 女子

- 優勝 荒木 妃依 (福井養正館)
- 2 位 山田 愛莉 (武生南剣道スポーツ少年団)
- 3 位 和多田紫聖 (武道学園)
- 3 位 泉 祐里 (みのり剣道スポーツ少年団)

▽ 4 年生 以下 女子 B

- 優勝 山田 達生 (福井今立道場)
- 2 位 五艘 志月 (木田剣道スポーツ少年団)
- 3 位 鈴木 清花 (南越前剣道スポーツ少年団)
- 3 位 渡邊 絵愛 (森田少年剣道教室)

▽ 4 年生 以下 女子 A

- 優勝 三好 希美 (五常館)
- 2 位 杖谷 彩羽 (大野市剣道教室)
- 3 位 赤尾 心虹 (金津少年剣道教室)
- 3 位 引野 陽彩 (みのり剣道スポーツ少年団)



男子の部 優勝の松陵中学校

**福井県剣道連盟創立70周年記念
第71回福井県剣道大会(中学生の部)**

令和5年9月16日(土)
於 福井県立武道館

福井県剣道連盟は主催の「福井県
剣道大会(中学生の部)」を9月16
日(土)、福井県立武道館で開催し
ました。試合結果は次の通りです。

【男子の部】

- 優勝 松陵中学校
- 2 位 南越前中学校
- 3 位 森田中学校
- 3 位 足羽第一中学校



男子の部 3位の足羽第一中学校



男子の部 3位の森田中学校



男子の部 2位の南越前中学校



女子の部 2位の森田中学校



女子の部 優勝の中央中学校

【女子の部】

- 優勝 中央中学校
- 2 位 森田中学校
- 3 位 足羽第一中学校
- 3 位 三方中学校

福井県剣道連盟創立70周年記念 第71回福井県剣道大会(一般男女の部)

令和5年9月17日(日)
於 福井県立武道館

福井工業大学が 男女アベック優勝!

福井県剣道連盟主催、越前市剣道連盟・南条地区剣道連盟主管の「福



女子の部 3位の三方中学校



女子の部 3位の足羽第一中学校

井県剣道連盟創立70周年記念 第71回福井県剣道大会(一般男女の部)は9月17日(日)、福井県立武道館で開催。各地区剣道連盟、団体から男子の部には15チーム、女子の部には7チームが出場し、熱戦を繰り広げました。福井工業大学が男女共に優勝を遂げました。

試合結果は下記の通りです。

【一般男子の部】

- 優勝 福井工業大学
- 2位 福井刑務所
- 3位 福井市剣道連盟 A
- 3位 坂井地区剣道連盟 A



一般男子の部 優勝の福井工業大学

【一般女子の部】

- 優勝 福井工業大学
- 2位 越前市剣道連盟
- 3位 鯖江市剣道連盟
- 3位 坂井地区剣道連盟 B



一般女子の部 優勝の福井工業大学



男子団体決勝



功労賞受賞の佐藤憲造氏(坂井地区剣連、左)と八幡喜己氏(福井地区剣連)



女子団体決勝

【令和5年度県剣連表彰受賞者】

開会に先立ち令和5年度県剣連「功労賞」と「優秀選手賞」の受賞式が行われました。受賞者は次の通りです。

【功労賞】

- 佐藤 憲造 (坂井地区剣道連盟)
- 八幡 喜己 (福井地区剣道連盟)
- 堤腰 一昭 (敦賀市剣道連盟)

【創立70周年記念面手拭い「大丈夫」】

県剣連は創立70周年記念として「大丈夫」と染め上げた面手拭いを作成、今大会の参加者に贈られました。「大丈夫（ますらお）」とは幕末



優秀選手賞受賞の菅藤尚哉氏選手（福井工大、左）と小浦一朗選手（福井工大、右）

【優秀選手賞】

- 大西ななみ
- 細川 梨絵
- 山田 聖子
- （令和5年度第44回北信越国民体育大会 優勝）
- 菅藤 尚哉
- （第65回北信越学生剣道選手権大会 男子の部 優勝）
- 牛嶋いつか
- （第65回北信越学生剣道選手権大会 女子の部 優勝）
- 小浦 一朗
- （第65回北信越学生剣道選手権大会 男子の部 準優勝）

令和5年度居合道伝達講習会

令和5年9月24日（日）
於 越前市武道館

福井県剣道連盟居合道部は9月24日（日）、越前市武道館で「県剣連居合道伝達講習会」を開催しました。

今回の講習会は本年7月に栃木県にて開催された「全剣連居合道中央講習会」での講習内容を県内会員へ広めることを目的として開催され、同講習会へ派遣された齋藤佳男氏（居合道五段・福井市）が講師を務めました。

今年の伝達講習会では「指導者が全日本剣道連盟居合を初心者へわかりやすく教える」ことを主題とし、その指導方法の解説が行われました。参加者は各地区の指導者となる高段者が多く、今回の講習内容が各地区

の志士、越前福井藩士橋本左内先生の座右の銘で、揺るがない信念を持って稽古に励むことの大切さを意味します。



- ▽男子予選リーグ
- 【Aリーグ】
- 1位 三方中

【団体の部】

結果は次の通りです。

「令和5年度第18回福井県秋季新人競技大会 剣道競技」が10月14日（土）、敦賀市中郷体育館で開催されました。団体戦では、男子は松陵中学校が2年連続2回目の優勝。女子は中央中学校が2年連続3回目の優勝を果たしました。

令和5年10月14日（土）
於 敦賀市中郷体育館

令和5年度第18回福井県中学校秋季新人競技大会 剣道競技



での初心者への指導に活かされ県全体の技術の向上に繋がればと思います。

- 3位 鯖江中学校

- 3位 明倫中学校

- 2位 三方中学校

※2年連続2回目

優勝 松陵中学校

- ▽男子決勝
- 松陵中 2-1 三方中

- 松陵中 3-0 明倫中
- 三方中 2-1 鯖江中

▽男子団体準決勝

- 4位 南越前中

- 3位 森田中

- 2位 鯖江中

- 1位 松陵中

【Bリーグ】

- 4位 三国中

- 3位 小浜中

- 2位 明倫中



男子団体優勝の松陵中学校

▽女子予選リーグ

【Aリーグ】

- 1位 中央中
- 2位 大東中
- 3位 武生第二中
- 4位 小浜第二中

【Bリーグ】

- 1位 森田中
- 2位 三方第二中
- 3位 鯖江中
- 4位 丸岡中

▽女子団体準決勝

- 中央中 3 | 0 三方中
- 森田中 2 | 1 大東中

▽女子決勝

- 中央中 3 | 0 森田中

- 優勝 中央中学校
※2年連続3回目
- 2位 森田中学校
- 3位 三方中学校
- 3位 大東中学校



【個人の部】

▽全学年男子の部

- 優勝 脇本 寛大 (足羽第二中)
- 第2位 尾崎 直統 (森田中)
- 第3位 糊谷 龍星 (松陵中)
- 第3位 山田 隼誠 (武生第二中)



女子団体優勝の中央中学校

▽全学年女子の部

- 優勝 中村 葵 (中央中)
- 第2位 森川 瑞紀 (中央中)
- 第3位 塚田 穂乃 (東陽中)
- 第3位 藤枝 佳倫 (鯖江中)



▽1学年男子の部

- 優勝 岩谷 賀生 (松陵中)
- 第2位 田中 陽登 (鯖江中)
- 第3位 八木 煌誠 (金津中)
- 第3位 荒木 春晟 (松陵中)



▽1学年女子の部

- 優勝 平松 優衣 (中央中)
- 第2位 岡井 陽菜 (中央中)
- 第3位 松ヶ谷 柚花 (万葉中)
- 第3位 明間 彩夏 (丸岡南中)



令和5年度福井県中学校
秋季強化錬成会

令和5年10月28日(土)
於 福井県立武道館

「令和5年度福井県中学校秋季強化錬成会(第1回ランキング戦)」が10月28日(土)、福井県立武道館で男子29校、女子30校が参加し開催されました。

最初に、生徒を対象に審判講習会が行われました。中体連の教職員を中心に8つのグループに分かれ、有効打突の見極めを視점에講習を行いました。その後、1次リーグから3

令和 5 年度 福井県実業団剣道大会

令和 5 年 10 月 29 日(日)
於 福井県立武道館

福井県実業団剣道連盟の解散に伴い、福井県剣道連盟に運営が移管されて初めて開催される「令和 5 年度福井県実業団剣道大会」が 10 月 29 日

次リーグまで、各校上位進出を目指して勢いのある試合がたくさん見られました。また生徒たちは、講習会で習ったことを実践しようと前向きに審判を行うことができていました。冬季強化錬成会(第 2 回のランキング戦)は 1 月に行われる予定です。冬場の稽古でさらに成長できるよう、各校取り組んでいくことを期待しています。



秋季強化錬成会の様子



2 位の武蔵屋 A



優勝の光武会 B

- 優勝 光武会 B
2 位 武蔵屋 A
3 位 熊谷建材 B
3 位 熊谷建材 A

(日)、福井県立武道館で行われました。県内職域・団体から 14 チームが参加、3 人制の団体戦で優勝を競いました。結果は次の通りです。



試合風景



3 位の熊谷建材 A



3 位の熊谷建材 B

【小学生男子の部】

優勝 福井養正館

準優勝 小浜少年剣道教室 A



選手宣誓する元井颯汰選手(松陵中学校主将)

結果は次の通りです。

第 54 回嶺南剣道大会

令和 5 年 11 月 3 日(金・祝)

於 敦賀市総合運動公園体育館
嶺南地区剣道連盟(敦賀・三方・若狭・大飯各地区剣道連盟)主催、敦賀地区剣道連盟主管、福井県剣道連盟など後援の「第 54 回嶺南剣道大会」が 11 月 3 日(金・祝)、敦賀市の敦賀市総合運動公園体育館体育館で開催されました。